

シモキタの「和解」を歓迎します

2016年3月30日

シモキタの「和解」を歓迎する有志一同

シモキタ(下北沢)は、歩いて楽しめる街であり、演劇や音楽などの新しい文化を絶えず発信する場所であるとともに、独特の魅力を持つ商業地と住宅地が融合した街です。

2006年に補助54号線(第一期工区)と区画街路10号線(駅前広場)が事業認可決定された後、どうしたらシモキタらしい街づくりができるのか、さまざまな議論がありました。

2015年に再選された世田谷区の保坂区長は、「人間中心」「歩いて楽しいまちづくり」を打ち出し、補助54号線の第二期工区と第三期工区の優先整備路線からの見直しを内容とする「下北沢まちづくりビジョン」を発表しました。

地元の商店会は、道路予定地でさまざまなイベントを開催し、公共的な空間の活用方法を発信してきました。

こうした状況の中、2006年から続く訴訟では、2015年10月、裁判所が当事者に対して和解協議の勧告を行い、オルタナティブ専門委員会が「下北沢再開発の『見直し』意見書」を発表しました。

そして、2015年12月には、東京都が、補助54号線の第二期工区と第三期工区を優先整備路線から外すことを内容とした「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)(案)」を発表しました。

このような状況を踏まえて成立した今回の「和解」(世田谷区的意思表明と原告による受諾)では、補助54号線(第一期工区)と区画街路10号線(駅前広場)について歩行者主体の街づくりが進められること、下北沢の現在の低層の街並みが地区の生活と文化を育んできたことに留意して良好な街並みの維持・発展を図ることなどが盛り込まれています。

私たちは、シモキタの「和解」を歓迎するとともに、今後も、さまざまな意見の対立を超えて、対話と協働による街づくりが進むようにシモキタを応援します。

(五十音順・敬称略)

青山真治 太田和彦 小熊英二 金子健太郎 工藤重典 黒田征太郎 坂田明 坂手洋二
佐高信 立川談四楼 竹田昌弘 田中泯 田中優子 服部圭郎 町村敬志 松尾貴史
松原隆一郎 宮台真司 毛利嘉孝